NEWS RELEASE



LIR (液状ポリイソプレンゴム)生産設備の増強工事完了について

当社は鹿島事業所(茨城県鹿島郡神栖町)にて進めていました、LIR(液状ポリイソプレンゴムの生産設備の増強工事(+年産1,000トン)が完了し、2004年10月より稼働を開始しましたのでお知らせいたします。(増強後生産能力:年産4,600トン)

LIR は 1977 年にクラレ独自のポリマー製造技術を結集して開発した粘性のある液状のポリイソプレンゴムで、現在ではタイヤを中心としたゴム製品、粘接着剤などに広く使われています。

ゴム製品の分野では LIR を使用することにより、天然ゴムまたは合成ゴムの力学特性を低下させることなく粘度を下げることができるため、加工性、生産性の向上が図れます。このためタイヤ生産が拡大している中国を中心としたアジア地域での需要が活発化しています。さらに高機能化が進む各種ゴム部品の精密成形分野での機能添加剤としての需要が拡大しています。

*LIR は主に天然ゴムまたは合成ゴムの反応性可塑剤として使われ、この分野で通常使われるプロセスオイルの分子量が数百程度であるのに対し、当社が展開する LIR はその分子量領域が 30,000~50,000 と高く、この極めて高い分子量を生かして独自の市場を築いている。

一方、世界的な脱有機溶剤の流れの中、非溶剤系の接着剤として、粘接着剤や変性銘柄によるゴム製品と繊維・金属類との接着、UV 硬化型接着剤原料としての需要も見込まれています。

当社は今後ともユーザーと密着した開発体制を強化し、LIR をエラストマー事業の一翼を担う製品として強化・拡大していきます。

設備増強の概要

場 所 :当社 鹿島事業所 (茨城県鹿島郡神栖町 事業所長:大崎 隆義)

生産能力: 年産 3,600 トン

今回増設分 + 1,000 トン 2004 年 10 月稼働開始

計 年産 4.600 トン

設備投資額:約4億円

以上

この件についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

(株) クラレ IR・広報室(東京) 小山・河村 TEL 03-3277-3305

(10/12 より 03-6701-1072)

(大阪)鶴崎

TEL 06-6348-2264